

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
豊かな自然に包まれた個性と秩序のあるまちづくり		下排水路改修	
		美しい町づくり推進	
事業群全体による 成果の概要	<p>井手町では、住民から「井手町の良さは、自然が残っていること」「美しい環境、のどかな田園風景、…」などの声が出ており、井手町の豊かな自然を次代に残していくことが求められている。「美化活動」「花づくり」運動など地域住民が主体となって取り組む「美しい町づくり推進」活動が、地域の自然環境の保全にもつながっている。また、「下排水路改修」の実施により、居住地域の整備を図ることで、豊かな自然環境を活かした、ゆとりのある快適な生活環境を推進につながった。</p> <p>本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	下排水路改修			
事業の概要	老朽化した下排水路の改修工事、及び測量設計。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	13,888	本年度事業費	13,888   交付金交付額
事業の必要性	降雨時の安全性を確保する観点から、住民ニーズに対応した下排水路改修が必要となる。			
事業の有効性	降雨時の安全性を確保するとともに、蓋付きの下排水路に改修で、道路幅員の拡幅のでき、歩行者の安全が図れる。			
事業の効率性	降雨による宅地への雨水流等も解消されてきている。			
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
	2 住民の自治意識を高める成果 下排水路改修により、地元住民主体による日常的な維持管理の必要性が再認識された。また、環境保全の認識も変わってきている。			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果			
	5 行財政改革に資する成果			

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	美しいまちづくり推進			
事業の概要	町内の美化活動等とおして、住みよいまちづくりの推進を図る。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	500	本年度事業費	500   交付金交付額
事業の必要性	地域住民全体が一致団結し、美化活動等を行うことで、地域連帯力の強化を図ることを目的とする。			
事業の有効性	美しいまちづくりは「住民全ての願い」。このことを念頭に一人一人が自覚を持ち、積極的かつ機敏に行動し、活動を推進している。			
事業の効率性	井手町美しい町づくり協議会を中心に、各区単位で結集し、町内一円に住民主体の美化活動を展開している。			
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会と親密な連携・協力が多大に発揮できている。			
	2 住民の自治意識を高める成果 郷土愛の育成につながる。			
	3 リーディング・モデル成果 心身ともに健全な町民の育成			
	4 広域的波及成果 他の市町村に誇れる町づくり			
	5 行財政改革に資する成果 緊急災害時等における相互扶助精神の育成につながる。			
京都府の評価				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
	安全性・利便性・快適性が高く、いきいきと暮らせるまちづくり	消防ポンプ自動車購入	
事業群全体による 成果の概要	<p>昨年は全国のいたる所で大災害が発生したことで、井手町でも住民一人ひとりの防災等への意識が高まっている。また、行政に対しても「安心・安全な暮らしの場」を形成することが求められている。「消防ポンプ自動車」購入により消防体制の強化を図ったことで、「安心・安全な暮らしの場づくり」の推進につながった。</p> <p>本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	消防ポンプ自動車購入			
事業の概要	消防ポンプ自動車購入(CD - 1型)1台。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	26,040	本年度事業費	26,040   交付金交付額
事業の必要性	複雑多様化する消防業務に対応するためには、装備・機動力の強化が求められることから、耐用年数と装備機動力の強化を勘案し、消防ポンプ自動車の更新を図るものである。また、本町は山林が7割を占めることや、緊急時の水利確保が困難なため、今回、水槽付き(700リットル)ポンプ自動車にすることにより迅速な初期消火を可能とするもの。			
事業の有効性	本町は山林が7割を占めることや、緊急時の水利確保が困難なため、今回、水槽付(700リットル)ポンプ自動車にすることにより初期消火を迅速に対応することが可能となるもの。			
事業の効率性	林野火災・雑草火災など、水利の確保が困難な場面において、迅速に初期消火が可能となり、消防力の充実・強化が図れた。			
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
	2 住民の自治意識を高める成果 消防団員の士気高揚、また、住民の消防防災意識の向上にもつながり、その相乗効果が図れた。			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果 山林が多くを占める近隣市町村において、水利の確保が困難な火災に対応するため水槽付ポンプ自動車の必要性が図られた。			
	5 行財政改革に資する成果			

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
創造性と思いやりにあふれるひとを育てるまちづくり		国民健康保険事業等補助金	
		ボランティアコーディネーター設置	
		健康づくり推進	
		こどもいきいき未来館	
事業群全体による 成果の概要	<p>「国民健康保険事業等補助金」・「健康づくり推進」による住民の健康に対する自己管理意識の啓発、「ボランティアコーディネーター設置」による地域福祉の推進、また「こどもいきいき未来館」による家庭・地域・学校の連携による青少年健全育成が、井手町を支える「創造性と思いやりにあふれるひとを育てるまちづくり」に大きく寄与した。</p> <p>本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	国民健康保険事業等補助金			
事業の概要	国民健康保険事業の健全な財政を維持し円滑な運営を図り、医療費の適正化を進めるとともに、予防と健康増進事業の推進を図る。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	7,943	本年度事業費	7,943   交付金交付額   7,943
事業の必要性	保健事業等を行うことにより、国保被保険者及び住民の健康問題に関する意義付けと予防につながられ、また、レセプト点検等での医療費の適正な効果が得られる。			
事業の有効性	1. 「健康のつどい」では、毎年骨密度測定を行い、160人が測定や健康ハイキングの取組みにより、自身の健康につながる効果が得られた。 2. 国保適正化対策事業レセプト点検は医療費の適正化に有効である。また、看護師による人間ドック受診者や多重診療者への訪問指導実施により、国保被保険者や地域住民の生活改善を図る。			
事業の効率性	今後においても、国保適正化事業の充実と推進を図り、国保財政の円滑な運営に努めるとともに、保健事業の充実により地域住民の健康に寄与する。			
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
	2 住民の自治意識を高める成果 国保事業として「健康のつどい」「ハイキング」、また「人間ドック」や「訪問指導」等により、住民の健康に対する意識向上が図れた。			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果			
	5 行財政改革に資する成果 国保適正化対策事業でのレセプト点検では、国民健康保険事業で17,328千円、老人保健事業で5,534千円の財政効果があった。また、訪問指導や各種事業の取組みにより、国保財政の健全化が図れた。			
京都府の評価				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名	ボランティアコーディネーター設置			
事業の概要	社会福祉協議会が「ボランティアコーディネーター設置事業実施要綱」に基づき、実施する事業。主な事業内容は「ボランティア運営委員会の運営」「ボランティア活動に対する支援・協力」「ボランティア活動の発掘・育成強化」などである。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	3,335	本年度事業費	3,335   交付金交付額
				1,667
事業の必要性	現在、井手町でのボランティア人数は400人を超え、活動の場も広がっている。今後も「住民参加によるまちづくり」を進めるうえで、ボランティアコーディネーターの役割がこれから一層求められると考えられる。			
事業の有効性	一人ひとりの住民が、自らもつ力を発揮しあってこそ実現できるボランティア活動の振興を目指し、地域を基盤として充実した活動を行えるよう、支援・援助を行う。			
事業の効率性	地域に根ざしたネットワーク、社会福祉協議会のネットワークを有効、且つ効率的に活用することができた。			
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 ・ボランティアリーダー養成研修 3回開催16名参加 ・ボランティア活動講座 6名参加			
	2 住民の自治意識を高める成果 各種ボランティア活動の参加、及び各養成講座、研修等を「社協だより」、「ボランティアバンクだより」等で工夫をこらして啓発をおこなった。			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果			
	5 行財政改革に資する成果			

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	健康づくり推進			
事業の概要	本町では保健センターを中心として「健康づくり推進事業」を展開している。住民の自主的な健康づくりを推進するため、健康づくり推進協議会活動の充実を図るとともに、健康相談や健康教育、健康づくりの催しなどを通じて「健康に対する自己管理意識」の啓発を図るとともに、母子保健、成人保健、老人保健などの保健事業の充実を図り「住民の健康増進と疾病予防」を推進し、乳幼児から高齢者まで幅広く住民の健康づくりに取り組んでいる。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	29,939	本年度事業費	29,939
			交付金交付額	4,632
事業の必要性	母子保健、老人保健事業の各種健診、相談、健康教室等の事業を通じ「疾病の予防、発見」に努めているが、「健康に対する自己管理」を住民自身が認識することで、個人、家族、地域の健康づくりをますます推進していけると考える。			
事業の有効性	各種検診等の事業を実施したことにより、疾病の早期発見にとどまらず、自分の健康や生活習慣病を見直すという意識をもってもらうとともに、医療費の増加の抑制につながっていると考える。			
事業の効率性	今後においても、検診等の取組みを積極的に行い、健康の維持と適切な医療の確保を図るとともに、生活習慣病の早期発見、早期治療につとめ、「自分の健康は自分で守る」という健康管理の意識を推進していく。			
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
	2 住民の自治意識を高める成果 健康づくりの取組みの中で、住民が「健康に対する自己管理」を認識していることを感じる。何よりも住民との接点を増やすことで、健康づくりを推進していけると考えるので、今後もきめ細かい対応をしていきたい。			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果			
	5 行財政改革に資する成果 健康づくりは疾病予防であり、高齢者にとっては要介護予防に役立っている。今後は府の健康マップ事業の分析等をもとに、テーマ、対象を絞った取組みを考える必要がある。			
京都府の評価				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	こどもいきいき未来館				
事業の概要	井手町の児童館として位置づけしている「いづみ児童館」において、児童・生徒に井手町の将来のまちづくりの礎になってもらうための知識(学力『算数検定・漢字検定』)・力(体力『スポーツ』)を培う事業を推進する。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	2,620	本年度事業費	2,620	交付金交付額
事業の必要性	児童・生徒の基礎学力の向上を目的に取り組んできた児童館学習会であるが、学習を実施するにおいて、児童・生徒に目標を持たすことが大切である。検定合格という目標をもって学習し、また、合格することで学習への意欲増進を図ることを目指す。				
事業の有効性	事業の推進により、児童館に集まる子供たちが、多くの友達や学年を超えた仲間たちと「楽しくスポーツすること」や「楽しく学習すること」の習慣を身に付けるとともに児童館のより一層の活性化につながる。				
事業の効率性	漢字検定や算数検定を実施することにより、子供たちが自分で目標を決め、計画を立て、実行し、目標に向けて頑張る子供が増えた。また、自分で取り組むことから、合格率も良く、「やればできる」という自信が付き、学習の向上・継続につながる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				
	6 その他 第1回漢字検定受験者数 47人 合格者 41人 合格率 87.2% 第2回漢字検定受験者数 45人 合格者 32人 合格率 71.1% 第3回漢字検定受験者数 41人 合格者 37人 合格率 90.2% 第1回漢字検定受験者数 25人 合格者 23人 合格率 92.0% 第2回漢字検定受験者数 34人 合格者 33人 合格率 97.0%  高い合格率で、学習の成果が発揮されている。 合格者は、次の級に進み、合格できなかった者は、次の検定合格を目指し頑張っている。 なお、児童館学習会への参加は延べ3,592人であった。				

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
明日の井手町を築く住民主体のまちづくり		公民館改修工事補助（西部区）	
		公民館改修工事補助（南部区）	
		町立区民館改修	
		住民主体による井手町の魅力づくり	
		住民交流施設整備	
事業群全体による 成果の概要	<p>これからのまちづくりは、様々な場面において住民と行政が対話し、協力し合いながら、まちづくりに取組んでいくことがますます重要になってきている。実際、住民アンケートの結果からも、住民活動への支援策として「活動、交流のきっかけづくり」「活動の場の提供」「財政的支援」などが求められている。平成16年度において、上記の事業の実施し「住民活動の支援体制の整備」を図ったことで、住民と行政のパートナーシップ構築の推進に大きく寄与したと考える。</p> <p>本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

（記載要領）

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

業		公民館改修工事補助(西部区)			
事業の概要	井手町多賀地区の西部公民館において実施される下水道接続工事、及び施設のバリアフリー化工事に対して補助を行うもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	6,000	本年度事業費	6,000	交付金交付額
事業の必要性	町内の公共下水道普及に伴い、公民館においても早急に下水道への接続が必要となった。また、高齢者をはじめとする、より多くの方々に利用していただくため施設のバリアフリー化を実施する。				
事業の有効性	下水道接続工事、及び施設のバリアフリー化を実施することで従来利用困難であった身体障害者や、高齢者にも幅広く利用していただくことが可能となる。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 公民館改修により、快適性や衛生面が確保されたため、地域住民の会合等で利用意欲が増進された。よって、地域活動の促進に大きく寄与している。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				
京都府の評価					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。

2 個別事業評価調査

団体名: 井手町

業		公民館改修工事補助(南部区)			
事業の概要	井手町多賀地区の西部公民館において実施される下水道接続工事に対して補助を行うもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	1,464	本年度事業費	1,464	交付金交付額
事業の必要性	町内の公共下水道普及に伴い、公民館においても早急に下水道への接続が必要となった。				
事業の有効性	下水道接続工事の実施により、衛生面の向上や利用者の快適性が確保される。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 公民館改修により、快適性や衛生面が確保されたため、地域住民の会合等で利用意欲が増進された。よって、地域活動の促進に大きく寄与している。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				
京都府の評価					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。

2 個別事業評価調書

団体名：井手町

業		町立区民館改修			
事業の概要	本町では区民館を2箇所設置しているが、昭和42年度に建設し38年が経過しており老朽化が進み支障をきたしている。今回、改修工事を実施することで、引き続き住民の文化活動及び福祉向上の拠点として利用を図るもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	13,965	本年度事業費	13,965	交付金交付額
事業の必要性	現在、老朽化が進み支障をきたしている。住民からの要望も多く、今回改修工事を実施するもの。				
事業の有効性	文化活動、及び福祉向上の活動の拠点として引き続き区民館を設置することで、地域住民の自主性を高め、区民の交流の場として引き続き活用していただくことが可能となる。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 老朽化していた区民館を改修することにより、地域での行事や自主的な活動に取り組むための拠点の整備が図れた。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				
京都府の評価					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。

2 個別事業評価調査

団体名: 井手町

業		住民主体による井手町の魅力づくり				
事業の概要	「井手町まちづくりセンター榑坂」を年間を通して活用する方法、運営にやりがいを持てる方法、お土産やサービスの可能性等、新たな魅力づくりについて検討を行う。					
	目標時期	平成16年度				
事業の必要性	総事業費	499	本年度事業費	499	交付金交付額	249
	「井手町まちづくりセンター榑坂」はオープンしてから1年半が経過しており、現在、井手町まちづくり協議会において運営をおこなっている。協議会では、月に一回、運営会議を開催し、センターの運営、課題・問題点について話し合いがなされている。中でも一番の課題となっているのが、センターを訪れる人々が一時に集中していることである。来訪者は春季、秋季に集中しており、その他の時期は訪れる人も少なく、運営している協議会のメンバーの機運も下がりがちになっているのが現状である。そういった中、協議会メンバーからも「年間を通して活性化できる新たな活用方法を検討し、イベントの開催等を積極的に実践していきたい」との意向があり、今後は年間を通してセンターを活用する方法、運営にやりがいを持てる方法、お土産やサービスの可能性等、新たな魅力づくりについて検討を行なう。					
事業の有効性	本事業を通して3回のワークショップを開催し、「井手町まちづくり協議会」のステージアップ支援として、年間を通して「井手町まちづくりセンター榑坂」の活用方法、運営へのやりがいを持てる方法、特産品やサービスの可能性を検討した。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 事業の結果、行政との共同的な役割から、一歩進んだ主体的な活動の実践まで、より自主的な活動が行なわれるよう支援が行なえた。具体的には、井手町の魅力あふれる風景を撮った写真展の開催と、今までの来館者名簿のデータベース化、そして写真展の人気作品を使ったポストカードによる情報発信(約750人分)と、井手町の魅力と特徴的なまちづくり活動の先進性をアピールできた。					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果					
京都府の評価						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。

2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

業		住民交流施設整備			
事業の概要	南区共同作業所、教育集会所の取り壊しをおこない、翌年度、跡地に快適な生活環境保全と住民交流の場として「共同浴場」の建設を計画するもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	8,331	本年度事業費	8,331	交付金交付額
事業の必要性	これまで地域改善のために利用されてきた南区共同作業所、及び子供たちの補習学級や地区住民に対する各種講座等に利用されてきた教育集会所。両施設とも老朽化が進んでおり、また既に設置目的を果たしていることから、今回取り壊しをおこない、翌年度、跡地に快適な生活環境保全と住民交流の場として「共同浴場」の建設を計画するもの。				
事業の有効性	今後跡地には「共同浴場」の建設を予定しており、地域住民の快適な生活環境保全を図ることができるほか、住民等の交流の場として幅広く利用されることで、地域の活力向上の場としての役割が期待される。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果 17年度に実施する交流施設の整備の促進につながった。				
京都府の評価					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	公民館改修工事補助(西部区)				
事業の概要	井手町多賀地区の西部公民館において実施される下水道接続工事、及び施設のバリアフリー化工事に対して補助を行うもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	6,000	本年度事業費	6,000	交付金交付額
事業の必要性	町内の公共下水道普及に伴い、公民館においても早急に下水道への接続が必要となった。また、高齢者をはじめとする、より多くの方々に利用していただくため施設のバリアフリー化を実施する。				
事業の有効性	下水道接続工事、及び施設のバリアフリー化を実施することで従来利用困難であった身体障害者や、高齢者にも幅広く利用していただくことが可能となる。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 公民館改修により、快適性や衛生面が確保されたため、地域住民の会合等で利用意欲が増進された。よって、地域活動の促進に大きく寄与している。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	公民館改修工事補助(南部区)				
事業の概要	井手町多賀地区の西部公民館において実施される下水道接続工事に対して補助を行うもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	1,464	本年度事業費	1,464	交付金交付額
事業の必要性	町内の公共下水道普及に伴い、公民館においても早急に下水道への接続が必要となった。				
事業の有効性	下水道接続工事の実施により、衛生面の向上や利用者の快適性が確保される。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 公民館改修により、快適性や衛生面が確保されたため、地域住民の会合等で利用意欲が増進された。よって、地域活動の促進に大きく寄与している。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	町立区民館改修				
事業の概要	本町では区民館を2箇所設置しているが、昭和42年度に建設し38年が経過しており老朽化が進み支障をきたしている。今回、改修工事を実施することで、引き続き住民の文化活動及び福祉向上の拠点として利用を図るもの。				
	目標時期	平成16年度			
	総事業費	13,965	本年度事業費	13,965	交付金交付額
事業の必要性	現在、老朽化が進み支障をきたしている。住民からの要望も多く、今回改修工事を実施するもの。				
事業の有効性	文化活動、及び福祉向上の活動の拠点として引き続き区民館を設置することで、地域住民の自主性を高め、区民の交流の場として引き続き活用していただくことが可能となる。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 老朽化していた区民館を改修することにより、地域での行事や自主的な活動に取り組むための拠点の整備が図れた。				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名	住民主体による井手町の魅力づくり			
事業の概要	「井手町まちづくりセンター椿坂」を年間を通して活用する方法、運営にやりがいを持てる方法、お土産やサービスの可能性等、新たな魅力づくりについて検討を行う。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	499	本年度事業費	499   交付金交付額
事業の必要性	「井手町まちづくりセンター椿坂」はオープンしてから1年半が経過しており、現在、井手町まちづくり協議会において運営をおこなっている。協議会では、月に一回、運営会議を開催し、センターの運営、課題・問題点について話し合いがなされている。中でも一番の課題となっているのが、センターに訪れる人々が一時に集中していることである。来訪者は春季、秋季に集中しており、その他の時期は訪れる人も少なく、運営している協議会のメンバーの機運も下がりがちになっているのが現状である。そういった中、協議会メンバーからも「年間を通して活性化できる新たな活用方法を検討し、イベントの開催等を積極的に実践していきたい」との意向があり、今後は年間を通してセンターを活用する方法、運営にやりがいを持てる方法、お土産やサービスの可能性等、新たな魅力づくりについて検討を行なう。			
事業の有効性	本事業を通して3回のワークショップを開催し、「井手町まちづくり協議会」のステージアップ支援として、年間を通じた「井手町まちづくりセンター椿坂」の活用方法、運営へのやりがいを持てる方法、特産品やサービスの可能性を検討した。			
事業の効率性				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
	2 住民の自治意識を高める成果 事業の結果、行政との共同的な役割から、一歩進んだ主体的な活動の実践まで、より自主的な活動が行なわれるよう支援が行なえた。具体的には、井手町の魅力あふれる風景を撮った写真展の開催と、今までの来館者名簿のデータベース化、そして写真展の人気作品を使ったポストカードによる情報発信(約750人分)と、井手町の魅力と特徴的なまちづくり活動の先進性をアピールできた。			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果			
	5 行財政改革に資する成果			
京都府の評価				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名	住民交流施設整備			
事業の概要	南区共同作業所、教育集会所の取り壊しをおこない、翌年度、跡地に快適な生活環境保全と住民交流の場として「共同浴場」の建設を計画するもの。			
	目標時期	平成16年度		
	総事業費	8,331	本年度事業費	8,331   交付金交付額
				4,165
事業の必要性	これまで地域改善のために利用されてきた南区共同作業所、及び子供たちの補習学級や地区住民に対する各種講座等に利用されてきた教育集会所。両施設とも老朽化が進んでおり、また既に設置目的を果たしていることから、今回取り壊しをおこない、翌年度、跡地に快適な生活環境保全と住民交流の場として「共同浴場」の建設を計画するもの。			
事業の有効性	今後跡地には「共同浴場」の建設を予定しており、地域住民の快適な生活環境保全を図ることができるほか、住民等の交流の場として幅広く利用されることで、地域の活力向上の場としての役割が期待される。			
事業の効率性				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
	2 住民の自治意識を高める成果			
	3 リーディング・モデル成果			
	4 広域的波及成果			
	5 行財政改革に資する成果 17年度に実施する交流施設の整備の促進につながった。			

京都府の評価	
--------	--

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。
- 3 「京都府の評価」欄については、地方課又は所管広域振興局において記入するものであること。